記者発表資料

平成２８年　２月１５日
能代河川国道事務所

# 「第４回　秋田県北地域の今後の地域展開に関する意見交換会」　を開催します

## ～日沿道の開通を見据えた地域戦略の構築と地域連携の取り組みを議論～

少子高齢化が進展する中で秋田県北地域が発展していくためにはこれまで以上に地域戦略の構築と地域の連携強化が必要との認識の高まりと日沿道の整備進捗を踏まえ、日沿道の開通を見据えた地域戦略の構築と地域連携の取り組みについて、下記のとおり第４回意見交換会を開催します。

記

１．日　時　：　平成２８年　２月１８日(木)　１３時３０分～

２．場　所　：　能代市二ツ井町庁舎　２Ｆ　大会議室

３．出席者　：　能代市長
北秋田市長
大館市長
秋田県　山本地域振興局長
秋田県　北秋田地域振興局長
秋田経済同友会　代表幹事
能代商工会議所　会頭
大館商工会議所　会頭
大館青年会議所　理事長

記者発表先：秋田県政記者会、能代市記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ


| 問い合わせ先 |
| --- |
| 国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所<br>TEL　０１８５－７０－１００１(代)<br>副所長（道路担当）　小山　茂　（内線２０５） |


※能代河川国道事務所が代表して報道提供しています。

# 秋田県北地域の今後の地域展開に関する意見交換会のこれまでの経緯

## 秋田経済同友会の呼びかけ

「秋田経済同友会主催　地域連携シンポジウム」(H27.2.18)
〇シンポ決議
・県内産業は、各分野で高度化の努力が続けられ、地域発展に寄与してきた。しかし、秋田県の少子高齢化進展に対応するためには、これまで以上に地域戦略の構築と地域の連携強化が必要である。
・このためには日沿道の開通が重要な要素。未着手区間への早期着手と早期完成を求める。
〇参加者
大館市長、能代市長、北秋田市長(代理)、
北秋田振興局長、山本振興局長、
秋田経済同友会、大館商工会議所会頭、能代商工会議所会頭　　等

(日沿道整備の進展)

平成 27 年度新規事業化(能代地区線形改良)により、現道活用区間も含め日沿道の全 IC 間で整備が始まる。

## 意見交換会の始まり

地域戦略の構築を議論する適期と捉え、先の地域連携シンポジウムの参加メンバーを中心に、日沿道の開通を見据え県北地域が連携した地域展開方策について昨年5月より議論を始める。

進め方
ｽﾃｯﾌﾟ1:「これまでの日沿道開通でどのような効果があったか」について整理・分析
ｽﾃｯﾌﾟ2:この分析結果をもとに、今後の開通を見据えた県北地域での連携した地域展開方策(産業面、観光振興面など)を議論

ｽﾃｯﾌﾟ1

H27.5.22
第1回意見交換会:「これまでの日沿道開通による効果」について意見交換

H27.7.1
第2回目意見交換会:「これまでの日沿道開通による効果」の整理・分析
→「これまでの日沿道開通による効果」とりまとめ、公表

ｽﾃｯﾌﾟ2

H27.10.1
第3回目意見交換会: 県北地域での連携した取り組みについて意見交換
・取組の提案や進め方について議論

(実務者レベルでの検討)

H28.2.18
第4回目意見交換会: 県北地域での連携した取り組みについて意見交換
・これまでの意見交換で出された連携取組提案の具体化検討の状況報告
・その他、日沿道整備進展を活かした新しい取り組みの状況報告

第5回目以降:引き続き「県北地域での連携した取り組み」を議論、具体化